



図書館だより

としよかんクイズ♡
『ぐりとぐら』あかいぼうしをかぶっているのは、ぐりとぐらのどっちかな？

今月の目標：平和について考えよう。平和に関する本を読もう。

『世界中の息子たちへ』より↓



まあるい愛のものさしが必要で
す

人の尊さをはかるには
人のいとしさ

人の美しさ

空の深さをはかるには

空のひろさ
空の大きさ

そんなまっすぐなものさしでは
世界をはかることはできません

どちらが正しいか正しくないか
どちらが善いか悪いか
どちらが優れているか劣っているか

ものさし
堤江実



へいわげっかん
6月は平和月間

めち たから
～ 命どう宝 ～

いのちは かけがえのない たいせつなもの



「沖縄戦ってなあに?」「どんな事があったの?」歴史を学び、人々の思いを知ることは、未来を作っていく私たちに必要なことです。戦争の無い世の中にするにはどうしたら良いのか、平和月間を通して考えてみましょう。

本から学ぶ 戦争の悲惨さ 平和を愛する心

図書館で展示しています。この他にもありますので、ぜひ手にとって読んでくださいね。

第二次世界大戦末期の昭和20年8月9日、長崎は原子爆弾によって大きな被害を受けました。戦争のない世の中を!



『あの日、夏の日』葉祥明(長崎) おだやかな日々を愛させた原子爆弾。長崎の心を伝える絵本。



『ながさき原爆の記録』(長崎) 原子爆弾の凄さを当時の写真が教くれます。

『さがしています』アーサー・ピナード/作 岡倉禎志/写真 (日本) 戦争で時間を止めた「物」が語り部となって教えてくれる本。



『被爆者-60年目のことば』(広島・長崎) 6人の被爆者が語る写真絵本。



かわいそうなぞう



『かわいそうなぞう』土家由岐雄/作 東京) 戦争中、上野動物園で三頭のゾウが殺されました。本当にあった悲しいお話です。

『絵本 ひめゆり』(沖縄) ひめゆり平和祈念資料館/文 ひめゆり学徒隊で生き残った人たちの証言を基に作られた絵本。



『ヨーンの道』下嶋哲朗/文画 (八重山) 川平にあるヨーン(夜)の道。暗い獣道を何度も歩いた…。戦争を体験した女性の壮絶な人生。



もうひとつの沖縄戦…「戦争マラリア」

沖縄戦の最中、八重山では「マラリア」という伝染病によって大勢の死者がでました。毎年、慰霊の日の6月23日には、バナナ公園にある「八重山戦争マラリア犠牲者慰霊之碑」で慰霊祭が行われています。



『忘れな石』西表島の南風見海岸にある忘れな石。そこには戦争マラリアの悲惨さと、平和を願う思いが刻まれています。



『忘れな石』宮良作/文 宮良瑛子/絵

『テッチャんの十五年戦争』(八重山) 宮里テツ/作 「戦争のない平和な時代のあなたたちは幸せです。」テッチャんが体験した八重山での戦争。



『みのかさ隊奮闘記』(八重山) 儀間比呂志/文 絵 みのかさを着てスコップとモッコを担いで飛行場の修復に命がけでこき使われた一団があった…八重山の男たちのいくさ物語。

